

## 袋井市都市計画マスタープラン 地域別説明会及びパブリックコメントの結果について

### 1 地域別説明会の開催結果について

#### (1)開催日時

平成 29 年 10 月 21 日 北部地域、中央北部地域

平成 29 年 10 月 28 日 中央地域

平成 29 年 10 月 29 日 中央南部地域、南部地域

#### (2)意見等 ※主な意見のみ抽出し記載しております。

NO.	意見等	市の考え方
1	人口について、転出・転入の状況を教えてください。	全人口では増加していることから転入超過となっています。ただし、子育て世代が市外へ転出してしまう傾向があります。(P1-11 表：5 階級別増減人数 参照)
2	森町袋井インター通り線の整備が進んでいない。今後、どうなるのか教えてください。	平成 28 年度に（都）森町袋井インター通り線の事業効果の検証を行いました。重要な道路であると認識しており、引き続き県へ要望活動を行っていきます。
3	バスの本数が少なくて不便。また、市役所をはじめ人の集まる場所へ停車するように考えてもらいたい。	袋井市の目指す都市構造の実現にはバス等の公共交通が重要となります。本計画にはバス等の具体的な施策は記載していませんが、引き続き、利便性の高い交通体系の形成に向けて検討を進めていきます。
4	袋井駅に医療施設、福祉施設、商業施設が一体となったビル等が袋井駅にあり、バスで行くことができれば便利だと思う。	現在、袋井駅南側では、居住環境の改善を図る土地区画整理事業と合わせて医療、福祉、商業施設等の集積によるまちづくりを進めています。 現在、メディカル地区では、整形外科、循環器内科が開業し、また、商業地区において

		も 8 月に事業者が決定し、平成 33 年春頃の開業に向けて事業が進められています。
5	袋井東幼稚園が、袋井東公民館や袋井東小学校から離れている。これらを集落拠点である袋井東公民館あたりに集約したい。	袋井東地区の施設の再編を含めた公共施設のあり方を、地域の皆様と意見交換を行いながら検討していきます。
6	市民体育館の跡地利用についての記載がない。方向性を示したほうがいいのではないか。	現在、跡地利用については決まっていません。今後、公共用地利活用検討委員会等において検討していきたいと考えています。
7	道路整備についていくつか記載があるが、本当にできるのか疑問。	財政状況が厳しい中で、今後の道路整備の方向性を示す「袋井市みちプログラム」を平成 28 年度に策定しました。この中で示す短期整備路線については、早期の完了または事業着手に向けて推進を図っていきます。
8	東名北側（村松地区）の耕作放棄地の対応どうするか。	村松地区だけにかかわらず、市全域で耕作放棄地が問題となっています。全体構想編の分野別基本方針の「土地利用」や「景観」にて耕作放棄地の解消など、適切な農地の保全についての方針を示しています。
9	国本の道の駅について、商工会議所より要望しているところだが、どこまで話が進んでいるか。	平成 28 年度に実施した「道の駅可能性調査」では、道の駅の運営にあたり、施設整備費や大規模修繕費などを含めて収益をあげることは難しいという結果となりました。民間事業者から地域の振興につながり、黒字となる事業計画が示された場合は、市として支援をしていきます。
10	現状分析の時間軸がバラバラでわかりづらい。例えば、計画の目標年次が 20 年なの	現在までのものや将来を見据えたものとあります。その中でもデータがあったり、無か

	<p>に対して、人口は約 40 年後の平成 72 年をみている。これだと、何年を目指していくのかわかりづらいのではないか。</p>	<p>ったりと様々です。人口や財政については、長期で見ると、これから人口については減少、財政については厳しさが増していきます。こうした局面を迎えているということを前提に今後のまちづくりを考えていく必要があることから、目標年次よりも長期的な視点で推計値を示しています。</p>
11	<p>計画全体がぼんやりとしたイメージで、実際に何をやりたいのかわからない。</p>	<p>整備計画ではないので、「何年に何を行う。」というような表現はしていません。ハッキリではありませんが、何を行うかその方針や方向性を記載しておくことが重要です。本計画に位置づけておくことで、今後、事業が動き出すときに国や県との協議をスムーズに進めることができます。</p>
12	<p>高南地区の狭あい道路について記載があるが、整備はできないと思う。記載はやめたほうが良いのではないか。</p>	<p>災害危険度調査を実施したところ、高南地区には狭あい道路等の危険度が高い地区があり記載をさせていただきました。道路整備計画(みちプログラム)には入っていませんが、地区計画の策定など、まちづくりと合わせて長期的に改善していく方法などもあります。</p> <p>今後、災害危険度調査の結果について、高南地区にも説明等に伺わせていただくとともに、今後の取組についても連携を図りながらまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>
13	<p>農地のことがあまり記載されていない。豊沢は、お茶が主体的な産業となっている。しかし、耕作放棄地が多いのも現状。市として、お茶がダメなら他の作物を育てていくようなことを考えないといけないと思っている。耕作放棄地などの農地がどうなっていくの</p>	<p>道路整備等と同様で、本計画では農業政策など具体的な施策は記載しておりません。ただし、関係各課が集まる策定委員会などでもご意見について報告させていただき、こうした課題についても共有化を図ってまいります。</p>

	か不安。袋井市のあり方を語るときに、農業のことについて書いておいてほしい。	
14	幹線道路の整備も進めていただきたいが、地域内の生活道路が特に狭い。このような狭あい道路を優先的に整備してもらいたい。幹線道路より重要だと思う。	今後の整備方針なども含めて、関係各課が集まる策定委員会などでもご意見について報告させていただき、こうした課題についても共有化を図ってまいります。
15	県道袋井大須賀線について、掛信浅羽支店から支所の近くファミリーマートまで、歩道が切れているところがある。非常に危ないと思う。	南北幹線道路については、整備計画はありませんが、関係各課が集まる策定委員会などでもご意見について報告させていただき、こうした課題についても共有化を図ってまいります。
16	袋井駅周辺を中心核としているが、商店の減少、また通過する駅で、この将来都市構造のような中心核になりえるのか。	袋井駅周辺は、平成 26 年度に橋上駅舎化し、南北交流の活性化に努めるとともに、駅南側では大規模な商業施設や医療、福祉、保育施設等の集積、また、人口密度を上げるため土地区画整理事業も進めており、中心核としてふさわしいまちづくりの実現に向けて、事業の推進を図っているところであります。
17	日本一健康文化都市として南部地域にも音楽祭などができるような施設がほしい。	市南部の地域拠点である浅羽支所周辺のメロプラザに音響設備の整ったホールが整備されています。今後は、施設や道路の新規整備が非常に難しい状況です。
19	空き家が増えているような気がする。袋井市には大学がある、学生等に空き家を安く利用してもらおう（シェアハウスなど）こともできるのではないかと。地域や持ち主と話しをしていったほうがいい。空き家の利活用も考えてほしい。	空家対策計画の策定に取り組もうとしているところです。本市は県や全国的に比べて空き家率が高い状況です。空き家対策の1つとして、静岡理工科大学などとの連携によるシェアハウスも考えられます。現在、空家対策計画の策定と空き家の利活用をはじめとした

	官民連絡協議会の設置を検討しており、こうした中で空き家対策の検討を進めていきます。
--	---

## 2 パブリックコメントの結果について

### (1)実施について

実施期間：平成 29 年 12 月 22 日から平成 30 年 1 月 22 日まで

実施方法：袋井市都市計画課窓口、袋井市役所 2 階情報公開コーナー、浅羽支所、月見の里学遊館にて計画案及び意見書を設置した。また、ホームページを活用し計画案の公表を行い、メールによる意見の受付も行った。

意見提出者：計 7 件

### (2)意見等

NO.	意見・提言等	市の考え方
1	都市活力創出地（下山梨地区）は、新たな都市活力を創出する産業地として位置づけられており、P3-9 の図を見ると農地のところに位置付けられている。一方で P3-8 の農地の土地利用方針では、農地の「保全に努め無秩序な開発の抑制に努めます。」とある。農地の開発を抑制するにも関わらず、農地へ産業地を開発するという部分に矛盾を感じる。	都市活力創出地（下山梨地区）につきましては、東名高速道路及び新東名高速道路の中間地にあたり、本市のみならず県全体の経済、産業、観光などの様々な分野で大きな発展や地域の活性化が期待される地域です。今後、袋井市は人口減少等にもなう都市活力の低下が懸念される中、本市においては、用途地域内に大規模な未利用地がありません。このため、新たな産業等の都市活力を創出する可能性を見出す場として位置づけていますが、産業地として開発する際には、農業振興との十分な調整が必要であると認識しております。
2	前回の開発傾向の都市計画マスタープランと比べ、今回は縮小傾向にあると感じた。これからのまちづくりの方針を示す計画として物足りないのではないか。	今後の人口減少、高齢社会を迎え、財政状況も厳しさが増していきます。こうした中で、これまでの積極的につくる都市づくりから、持続可能な都市づくりへの転換が必要となり

		ます。しかし、このような転換の中でも都市活力を十分に創出しながら、誰もが質の高い生活ができる都市づくりを目指していきます。
3	地球温暖化対策のため低炭素化や省エネ、節電といった時代の要請をまちづくりに反映していくための方向を示唆する役目もあることから、住宅の外断熱化などの高断熱・高気密化や省エネ化の積極的な推進を位置づけてほしい。	P3-14「基本的な考え方」やP3-16に「地球環境に配慮した都市づくり」に地球温暖化等の環境問題に対し、資源・再生エネルギーの有効活用や環境負荷軽減に向けての取組みについての方針を位置づけています。
4	駅南の開発にともない活性化するのは、市の発展にとってとても良いことだと思うが、駅南の発展による影響で駅北のにぎわい等がさらに無くなってしまいうような気がする。駅北の活性化も併せて進めてほしい。	都市拠点のさらなる機能強化を図るためには、袋井駅周辺の活性化が不可欠になると思います。駅南側の商業施設や医療施設の集積を図るとともに駅北側の既存市街地の活性化についても検討していきたいと考えています。
5	災害が発生したとき、それぞれの地域の被災状況を瞬時に把握し、対応できるシステムを構築する等を入れてはどうでしょうか。	大規模災害時には、瞬時に被害状況を把握することは難しいと考えます。本計画では、的確な状況把握に努め、ICT等の利活用により災害状況や被害情報の発信、避難所案内、安否確認に努める方針としています(P3-21)。
6	袋井市には、大きな宿泊施設がありません。観光(遠州三山)で訪れた人や、新総合体育館での大きな大会時の選手等を受け入れる大きな宿泊施設が必要だと思います。こういった方々に飲食店を利用してもらえば活気のあるまちになると思います。	本計画は、土地利用方針や都市施設の整備などを総合的に示す方針であるため、都市施設以外の具体の整備方針は記載できませんが、医療・福祉・商業施設等の都市機能の集積を方針としていますので、今後の活力と魅力あるまちづくりへの参考とさせていただきます。

7	<p>南部地域の(2)まちづくりの方針 イ 道路・交通によると、「都市拠点・地域拠点と集落拠点を結ぶ公共交通ネットワークの維持向上により、誰もが移動しやすい利便性の高い交通環境を目指す」とある。南部地域は東西に住宅地が続いており、集落拠点から離れた場所にも多くの方が暮らしている。自動車等の交通手段をもたず、離れた場所に暮らす人が都市拠点や地域拠点に行くためには、まず集落拠点に行くための手段も必要になるかと思うが、そのような公共交通は整備されるのか。</p>	<p>本市では、民間バスでカバーできない地域につきましては、自主運行バスやデマンドタクシー、地域協働運行バスを整備しています。南部地域においては、150号線に民間バスが運行しているものの都市拠点(袋井駅・袋井市役所周辺)や地域拠点(浅羽支所周辺)への路線はなく、また自主運行バスにつきましても大野、笠原方面の路線のみとなっています。こういったバス路線がない地域につきましては、浅羽東地区在住者を対象とした地域協働運行バスや浅羽南地区在住者を対象としたデマンドタクシーを整備しています。</p>
---	--	--